

膠原病・リウマチ内科（担当部門：必修内科・選択科目）

診療科 HP (<http://kagawa-ichinai.jp/guide/immunology>)

研修目標（2ヶ月の研修）

Common disease から稀少疾患までの診療を通して・・・

- 全身の診察と各種検査の解釈・評価ができる。
- 治療方針の選択肢を考えることができる。
- 病状や治療方針を患者さんにわかりやすく伝えることができる。
- 医療者間の情報共有の重要性とコミュニケーション能力の獲得。
- 希望に応じて各種セミナーや学会に参加し発表する。
- 診療や研究に必要な文献検索ができる。
- 個々の症例を通じて医師の魅力を再確認する。

指導医からのメッセージ

私たちの先生は患者さんです。
患者さんに沢山の事を教えてもらって私たちと一緒に医師としてのスキルアップ、そして人間力のアップを目指しましょう。

研修内容、経験できる症例や手技

- 対象疾患；関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、特発性炎症性筋疾患、血管炎候群、全身性強皮症、自己炎症性疾患、脊椎関節炎、リウマチ性多発筋痛症、シェーグレン症候群、混合性結合組織病、若年性特発性関節炎、成人発症スチル病、不明熱など小児～成人～高齢者までを対象
- 先輩医師・指導医と一緒に患者さんを診療する。
- 各種血液検査・画像検査・生理機能・病理検査のオーダー方法と結果を解釈する。
- 各種手技を体験する。（関節・腹部・心臓超音波検査、腎生検、骨髄穿刺、CV挿入、小唾液腺生検、腰椎穿刺、肝生検、サクソソテストなど）
- 免疫抑制治療のためのリスク評価を行う。
- グルココルチコイド、免疫抑制薬、分子標的薬を選択し使用する。
- 原疾患ならびに治療に伴う合併症予防薬を選択し使用する。

研修のスケジュール

曜日	午 前	午 後
月	病棟業務	病棟業務
火	症例カンファレンス	病棟業務・ジャーナルクラブ
水	病棟業務	病棟業務
木	病棟業務	病棟業務
金	病棟業務	病棟業務

外来で状態の悪い患者さんの診察や検査をすることもあります。

他の診療科や診療部（検査部や病理部、リハビリテーション部など）へ積極的に相談に出かけるように推奨します。

推奨図書：オンデマンドで紹介します。